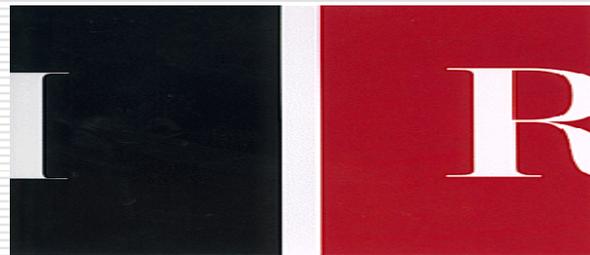


CO2削減と日本企業への期待

All you need is innovation!

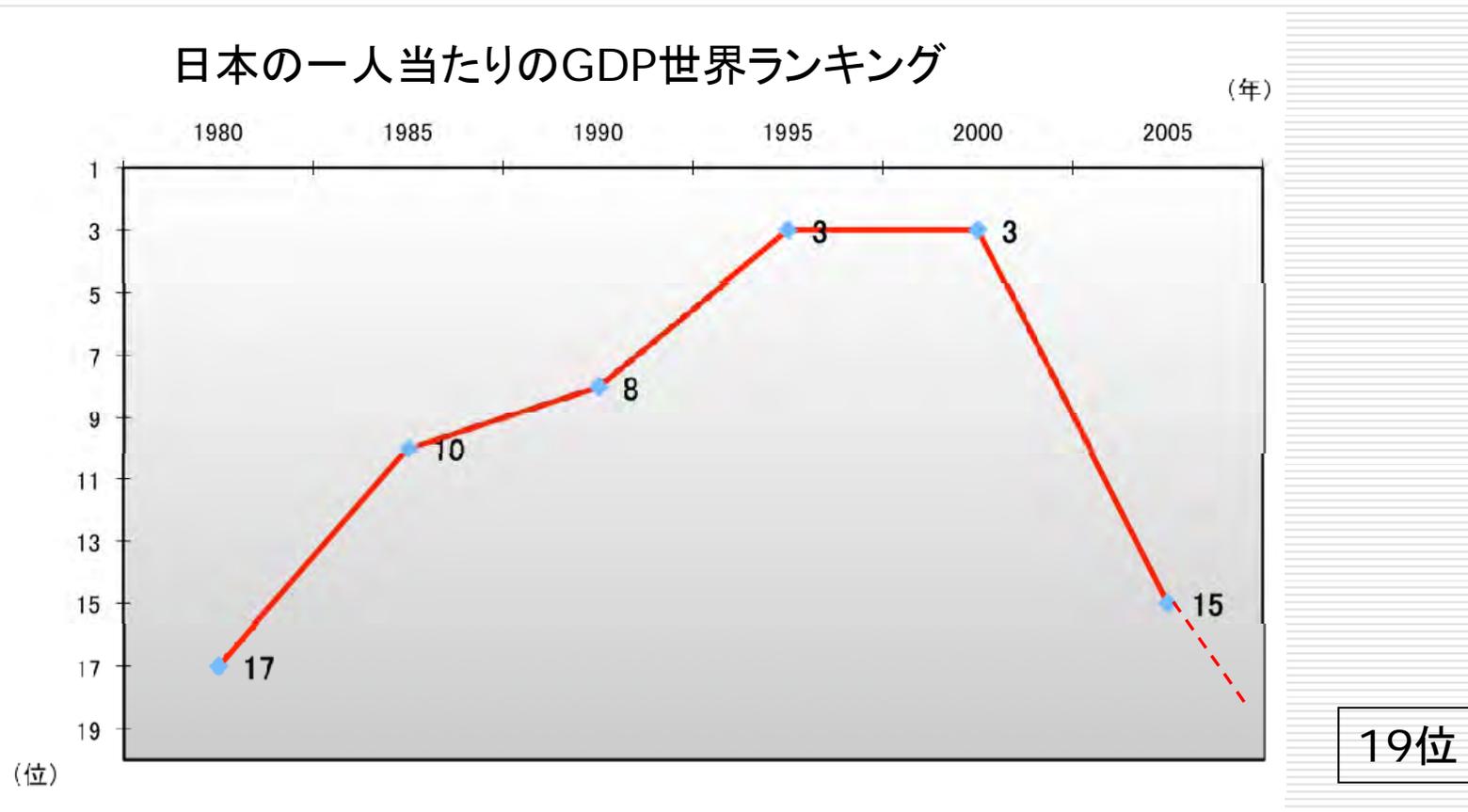
一橋大学イノベーション研究センター
米倉誠一郎



Institute of Innovation Research
Hitotsubashi University

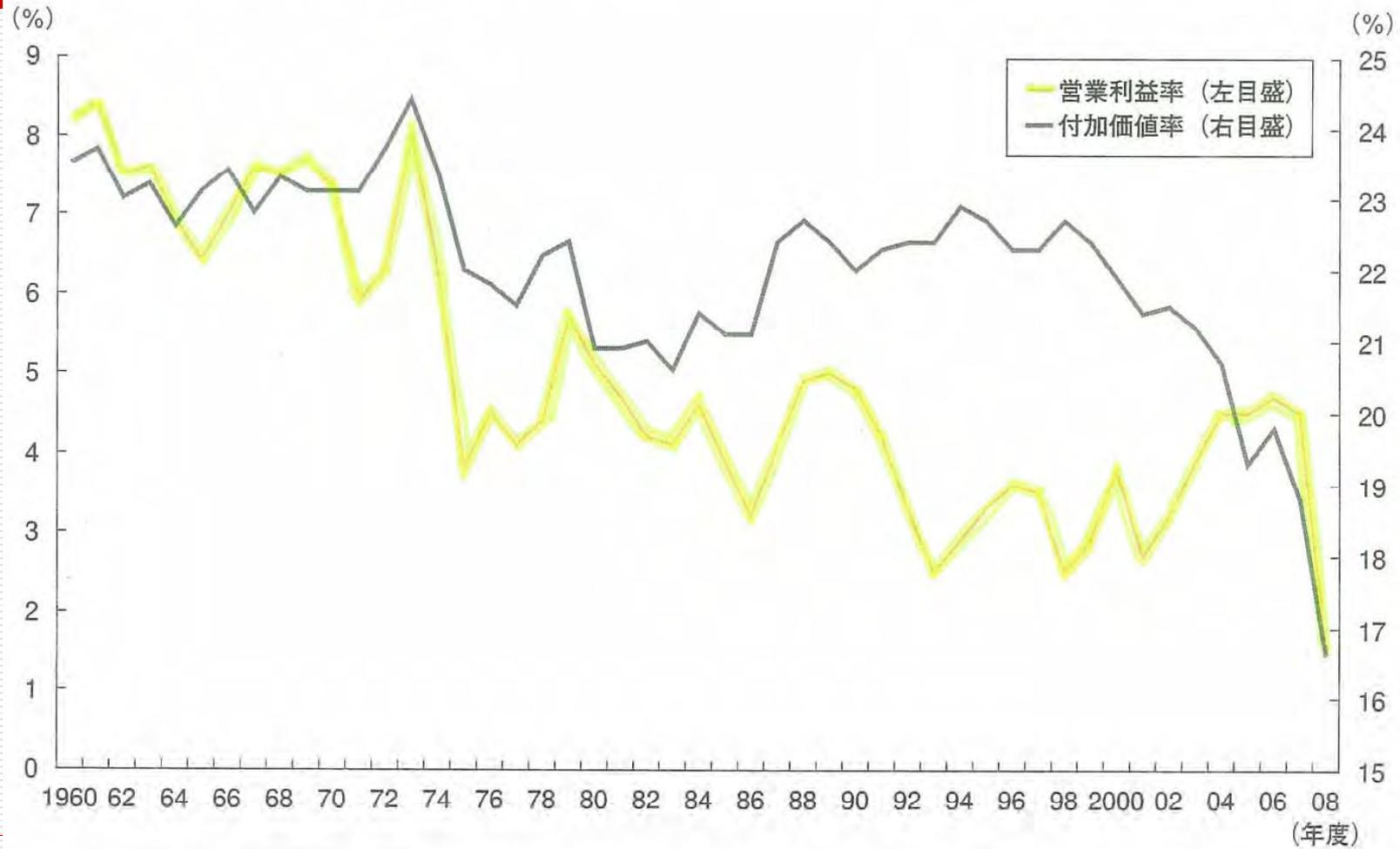


30年前に後戻り？

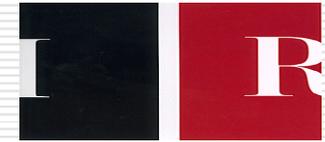


検証:日本企業の競争力

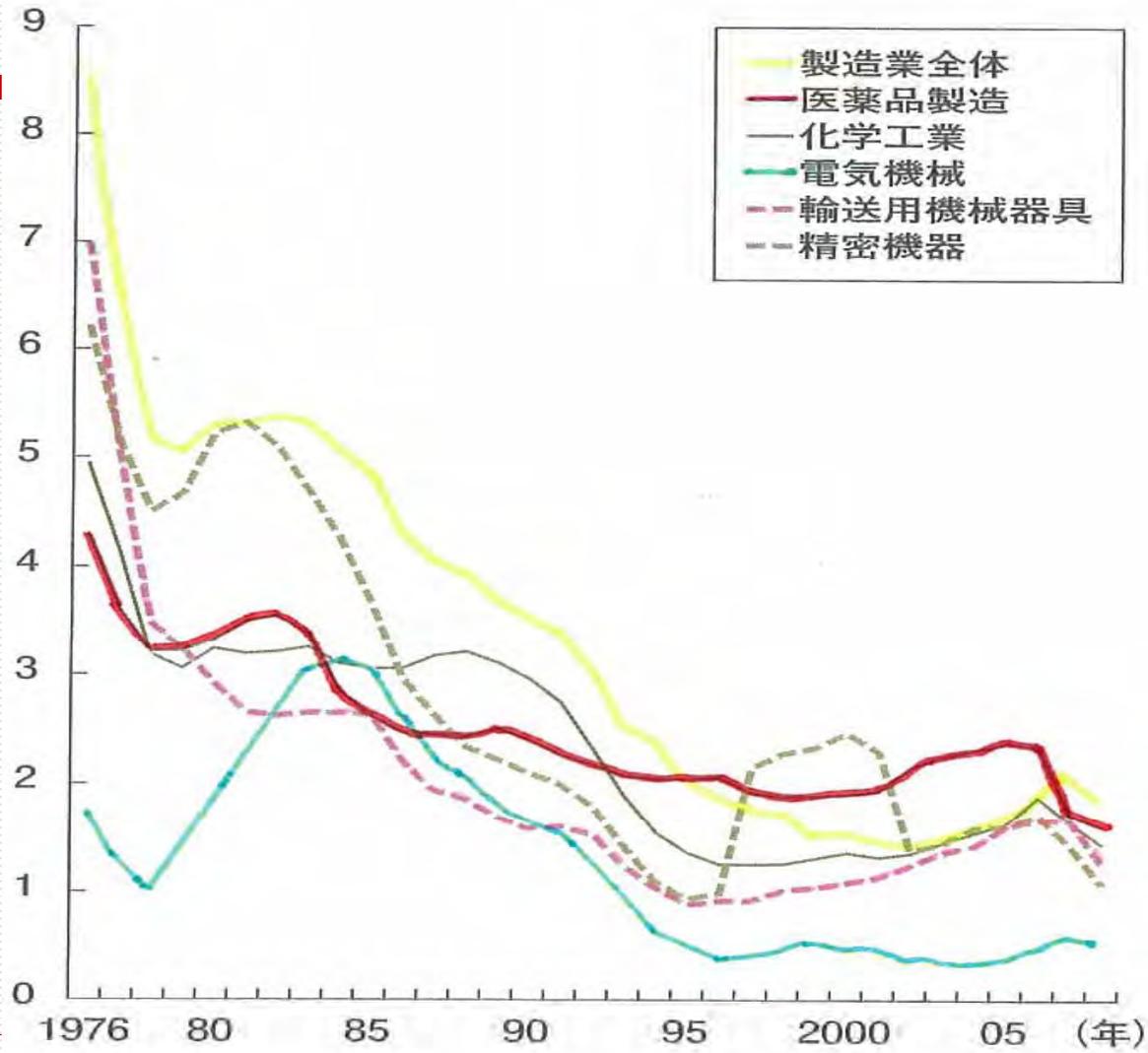
日本の製造業の営業利益率と付加価値率の推移



(出所) 財務省「法人企業統計」より作成。



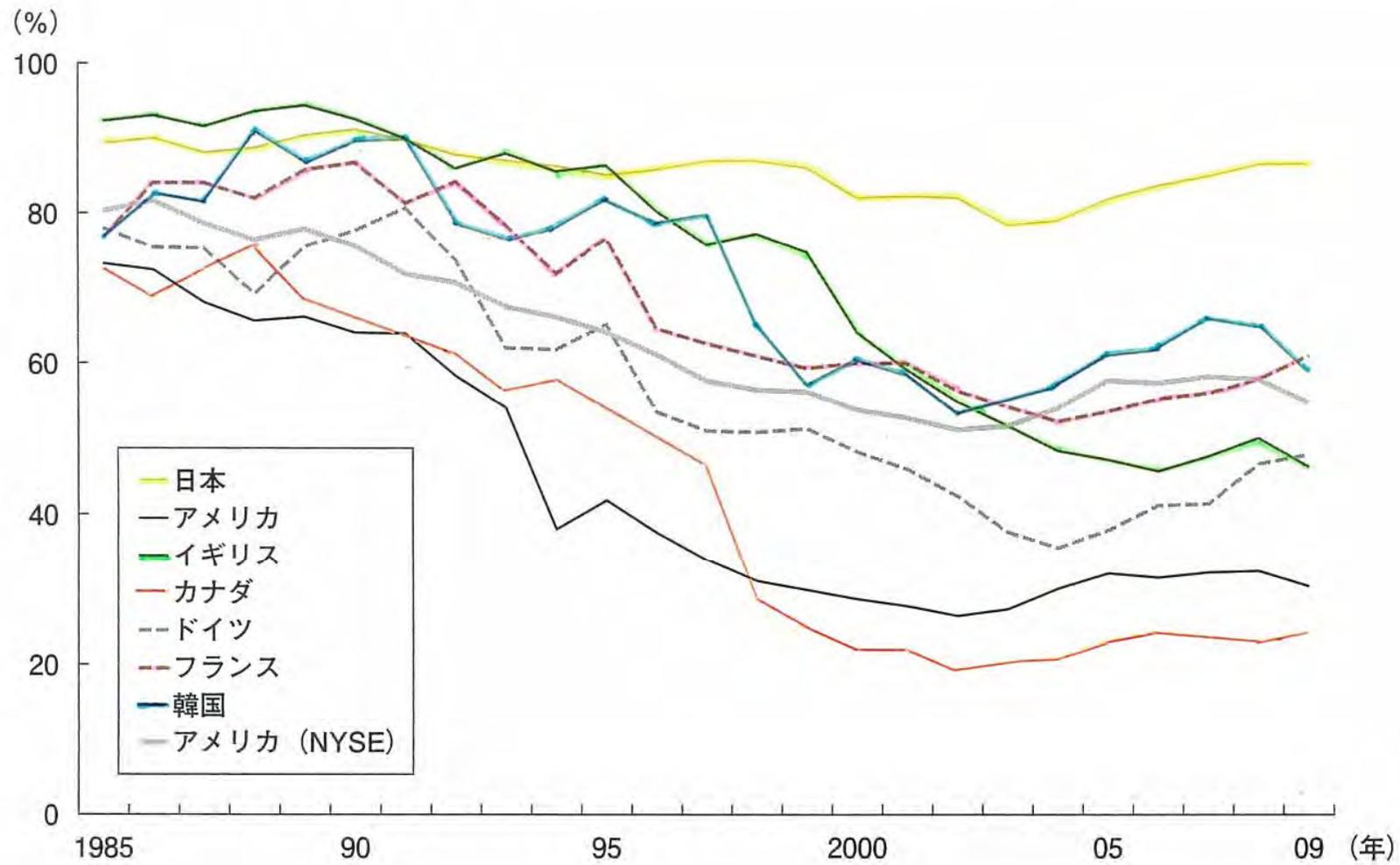
研究開発の効率性 ——研究開発費と営業利益の結びつき



(出所) 科学技術研究調査報告、1971～2008年。



有配企業の比率の推移——国際比較



(出所) Worldscopeより作成。



クラウドの衝撃 (iPad & Android)

iPad

Our most advanced technology in a magical and revolutionary device at an unbelievable price.



- 形でも。使い易さでもなくビジネスモデル
- クラウド・コンピューティング時代のデバイス
- オープンとクローズの共存
- まさにニューマーケットと付加価値創造

ハイボール飲んで、 着せ替え・歌詞付きウォークマン!?



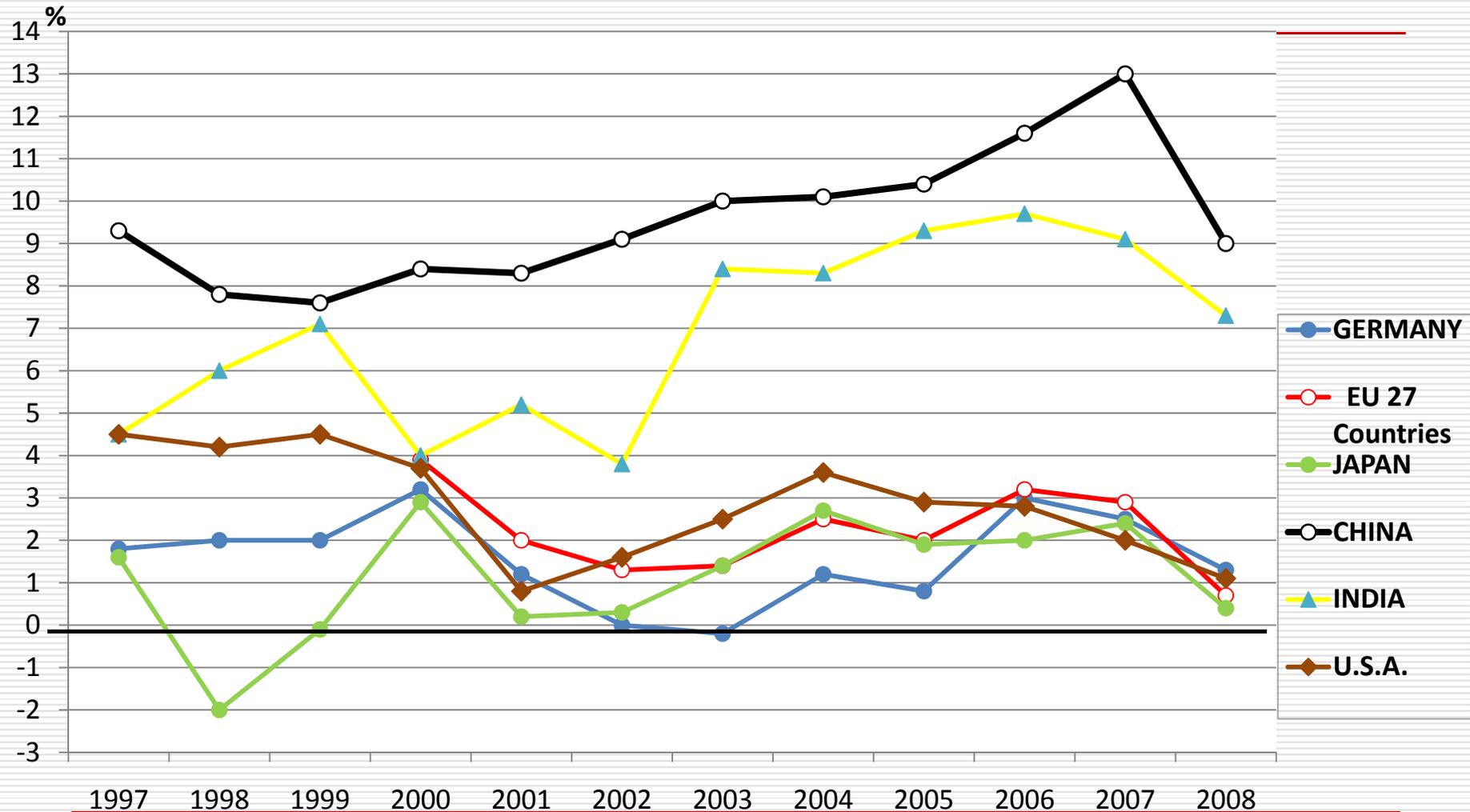


揺るぎない未来はどこにあるのか？

1. アジアのなかの日本
 2. 環境技術・トータルソリューション
 3. 少子高齢化社会のリーディング・カントリー
-

成長はセンターはアジア

各国の実質経済成長率



Refer to: National Accounts Main Aggregates Database by United Nations Statistics Division

これが未来永劫に続く筈がない
持続可能な経済成長はありえるのか？



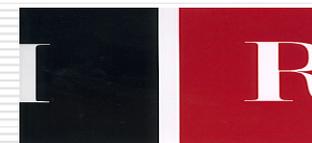


シロクマ君を救おう



日本が頑張れば、他国はついてくる！

鳩山前政権はCO2の25%削減を宣言



It must be joking?

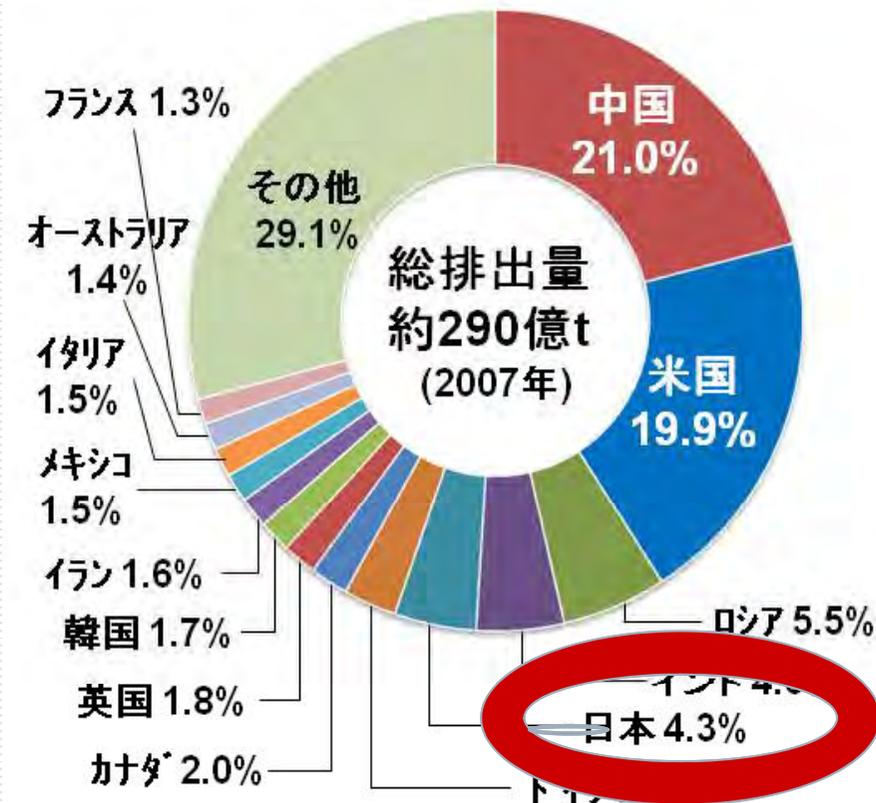
- 一人歩きする数字だけを競うのではなく、この数字の本質を考えなければならない
- 国際会議は、「準備不足のお人好しは、スケープゴートにされ、後々にその国民に苦渋の重荷を背負わせることになる」
- どのような戦略が必要なのか





そもそも日本は世界の僅か4.3%の排出

- 現状でも4.3%, 歴史的蓄積からいっても合計で4%に過ぎない。
- 最も巨大な排出国は中国とアメリカである。
- 300億トン中3億トン





どのくらいコストがかかるのか

- 2014年までに、日本は410万トンの排出量を海外から購入せざるを得ないかもしれない
- 8000億円から1兆6000億円 の資金が海外に流出する可能性
- さらに、日本の1家庭当たり 各年22～77万円程度の負担が見込まれる

USA	\$84～275	(EPA～CBO)
Japan (15%)	\$430	麻生プラン
Japan (25%)	\$2200～7700	鳩山プラン



日本の石炭火力発電技術で 各国で計画中の建設を代替すれば

- ASEAN: 年間900万吨
- インド: 年間2800万吨
- 中国: 年間8300万吨
- 合計1億2000万吨の削減
- これにアメリカ・ロシアを加えれば2億トンはいける



ものからソリューションへ

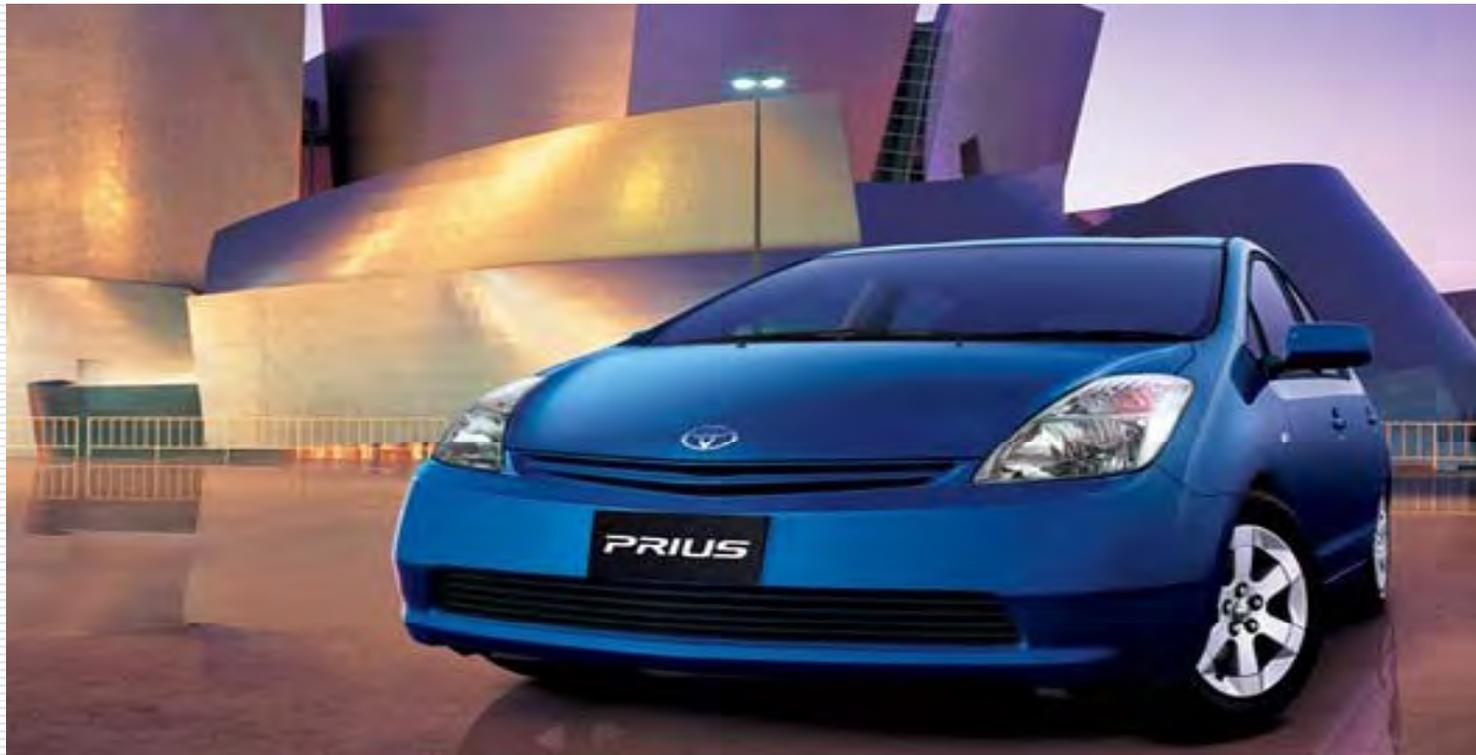


アジアやアフリカに車を売っていいのか？

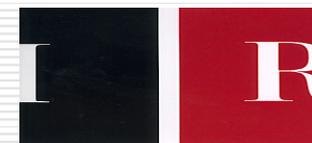




ハイブリッドも電気自動車もある (時々ブレーキは利かないかもしれないが)



さらには新幹線も地下鉄もある
(時々ギアから煙が出たりするが)

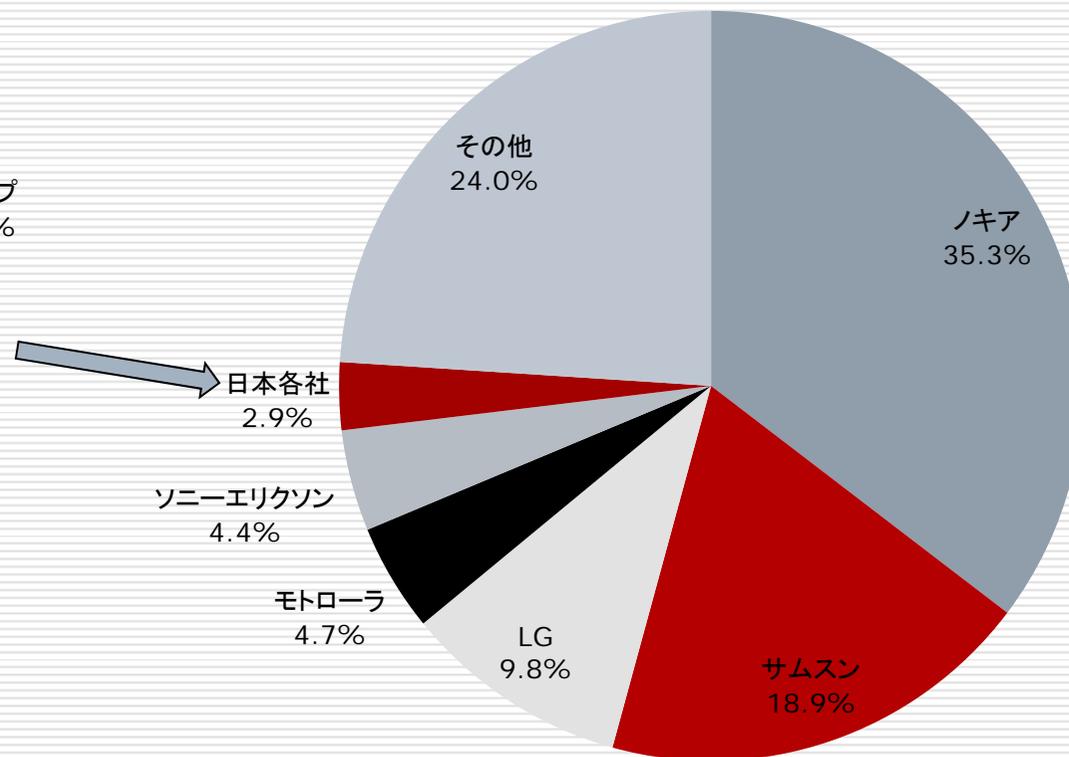
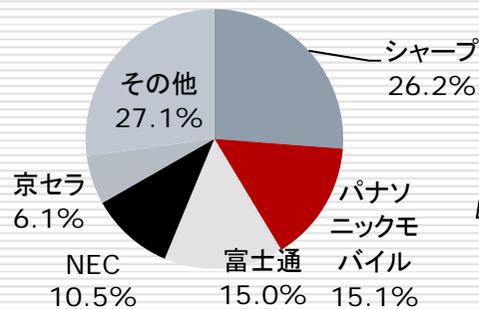




ガラパゴス化の本当の姿

携帯電話端末 世界シェア 2009

携帯電話端末 国内シェア
2009



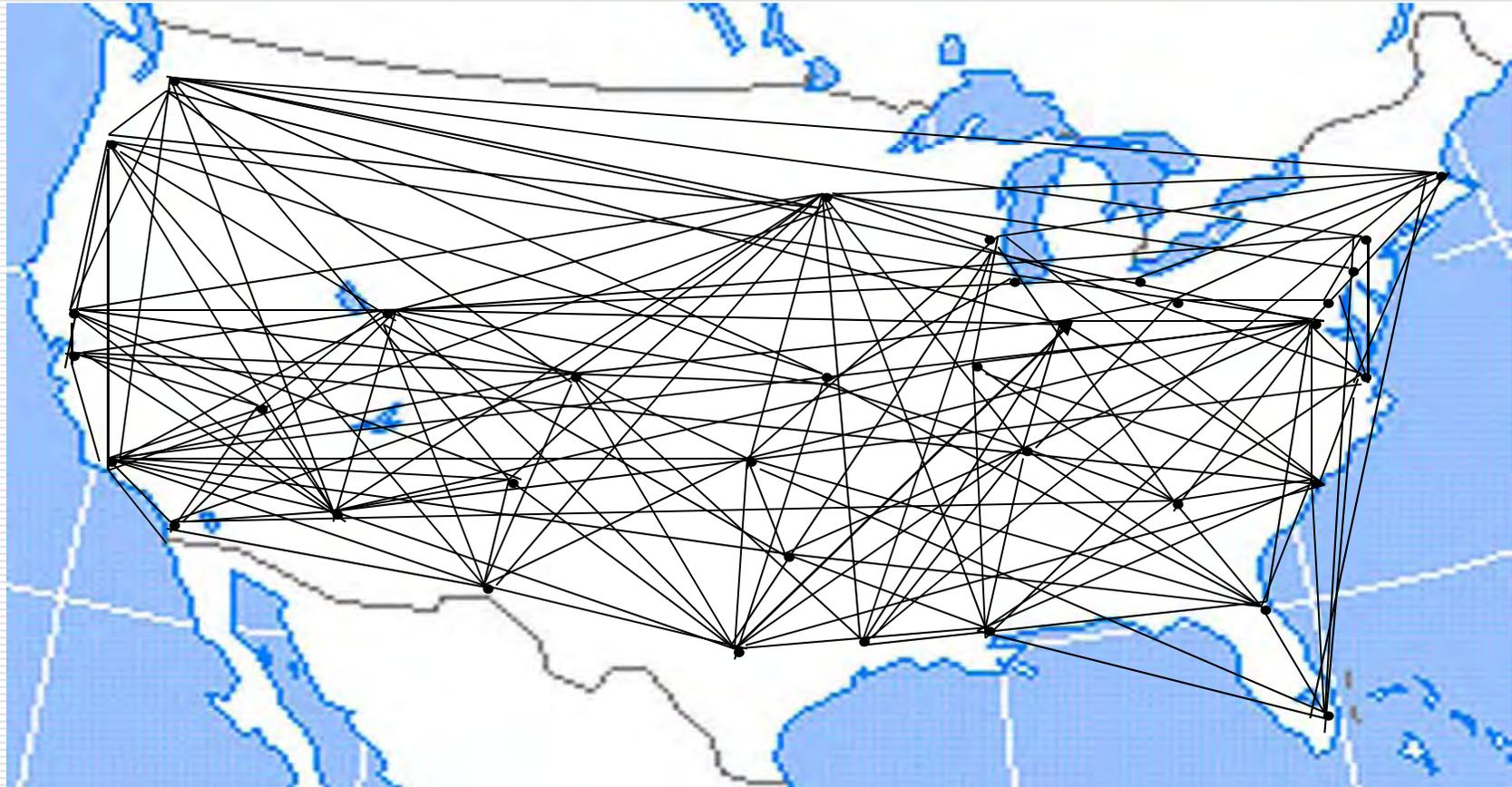
イノベーションとは 技術革新だけではない！



全米各150都市すべてに 翌日宅配をするには何台の飛行機が？



Frederic Smithのエール大学時代の経済レポート



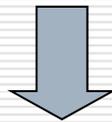
正解：149台 ハブ&スポーク戦略



新しい組み合わせとしての イノベーション



- 1) 新製品の導入
- 2) 新生産方式の導入
- 3) 新市場の創造
- 4) 新しい原材料・半製品の獲得
- 5) 新しい組織の創造



絶えざる新たな組み合わせ



ユヌス博士と話して分かったこと 一人ひとりにエンジンを



- ムハマド・ユヌス博士とグラミン銀行
- 成長と発展は違う: 機関車モデルvs新幹線モデル



Bangladesh に行ってきた

Design for Extreme Affordability



グラミン銀行には新しい資本主義について学ぶことが沢山ある。





“The Perpetual Motion”

小さくても世界を変えるイノベーション

□ Small but Great Innovation

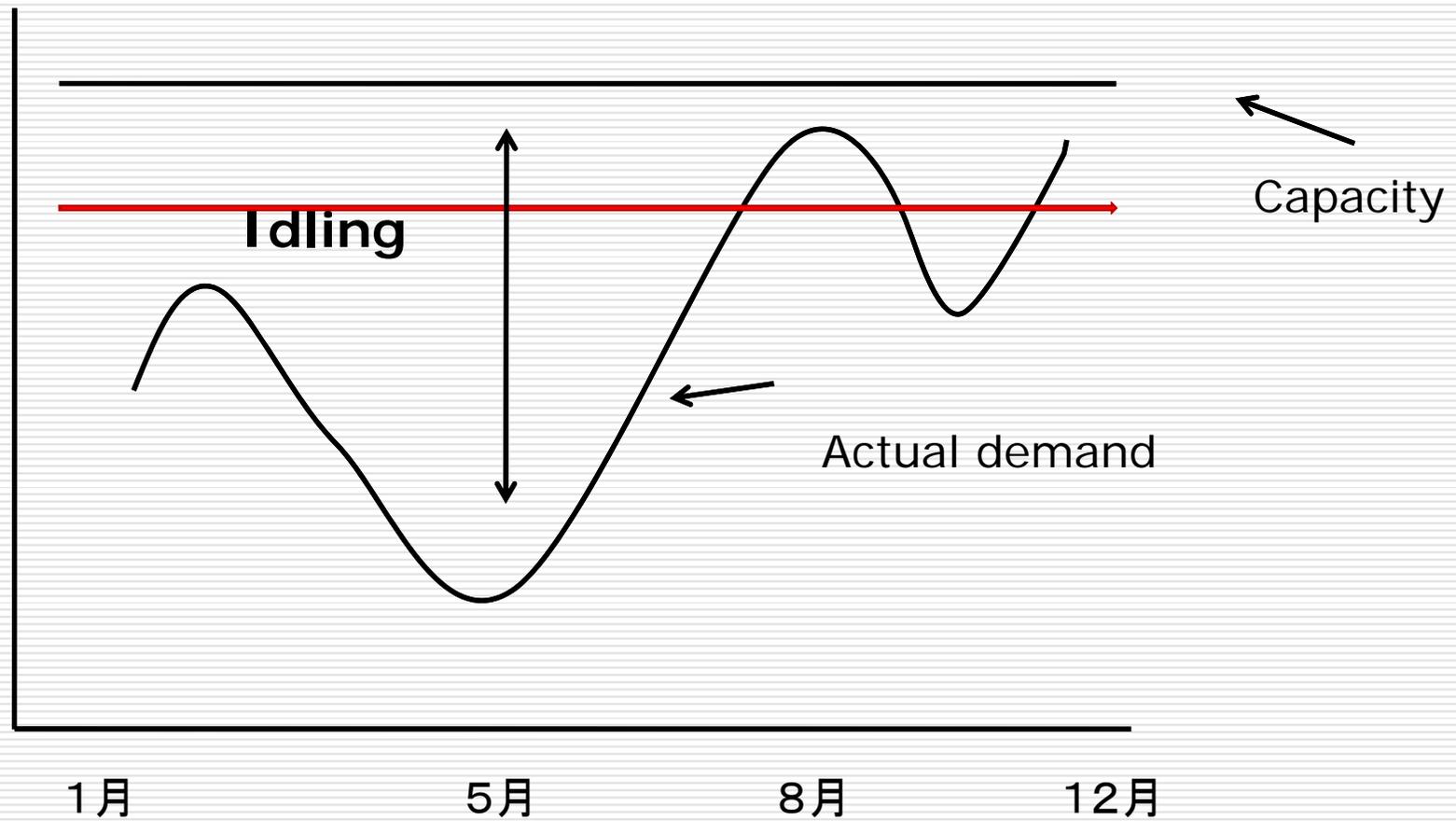


確定給費金の愚 小中学校を太陽光発電に



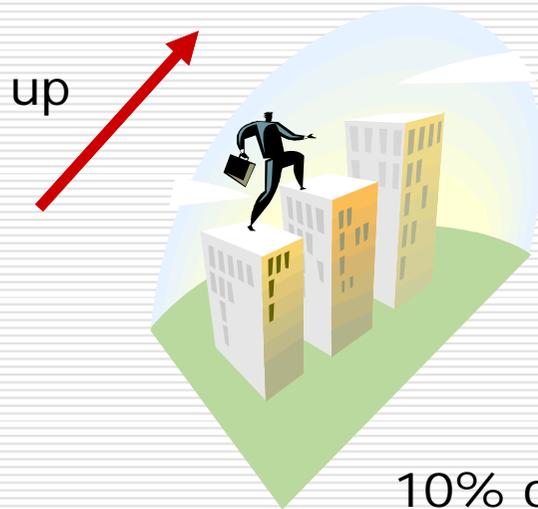


ピーク対応からピークコントロールへ

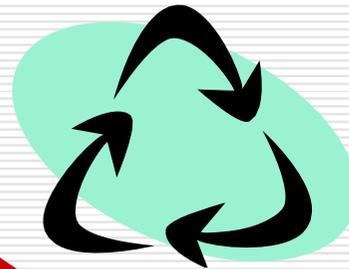




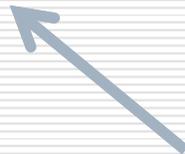
ITパワーをTwitterやゲームに浪費しないで！



10% off



スマートシティは
夢じゃない



1% down

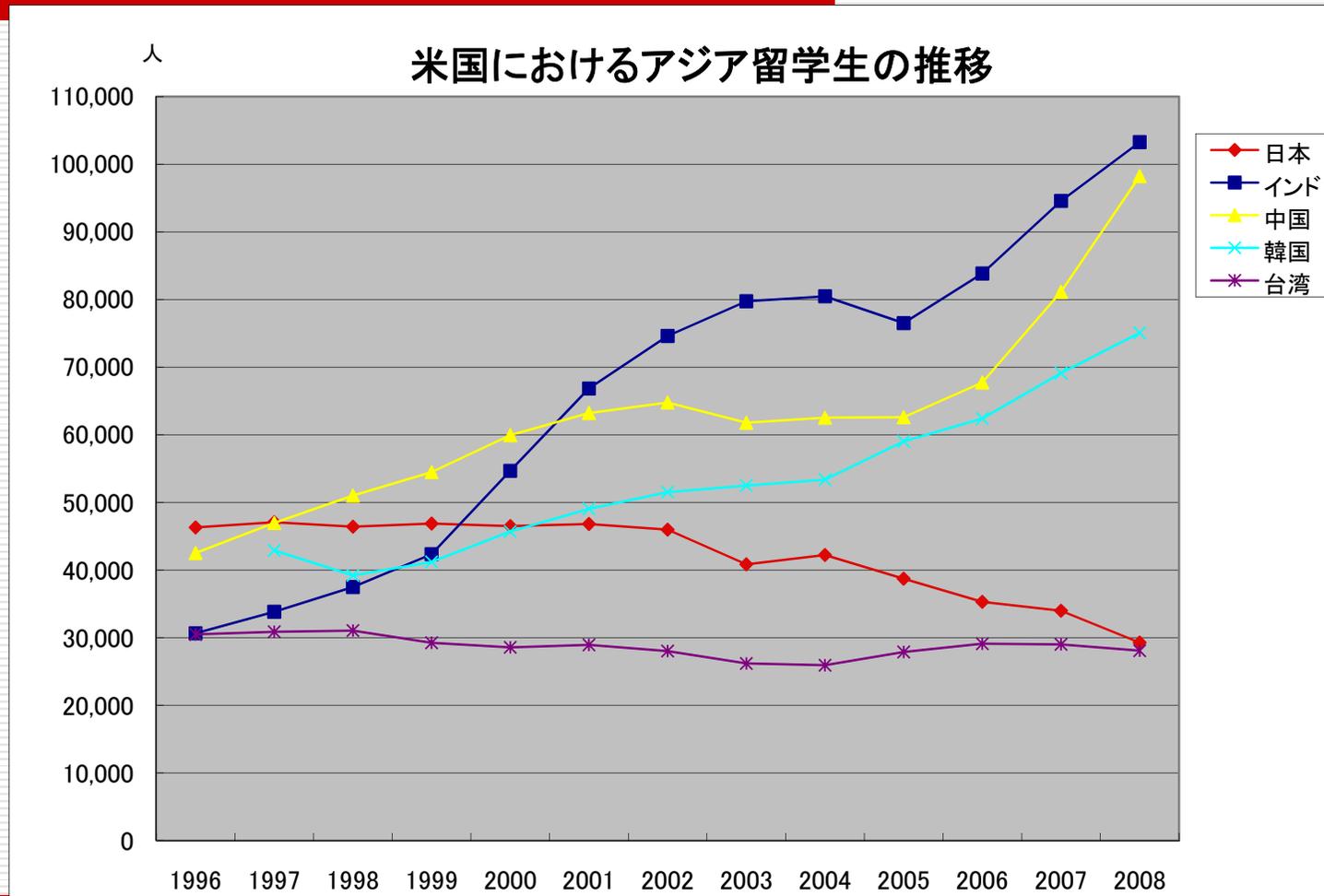


ロボット王国日本はこれから 中国の一人っ子政策はいつから？





日本の内向き志向は深刻だ



ハイボール飲んで、3D観て、
Twitterをやっている場合じゃない



- この廃墟から立ち上がった日本はどこにいるのか？

